

◎露國經濟界に於ける英國の新勢力 戰前露

國經濟界に於ては、獨逸か頗る勢力を張つて居たか、戰爭開始後は其形勢を一變して、英國の勢力が大に加はるに至つた。而して此傾向は鑛業に於て、最も顯著なるを見るのである。即ち最近の報道は、三百五十餘の金、白金、銅、鐵、石綿の鑛區及四十二のオスミウム、イリヂウムの鑛區が英人の手に歸したること、中部ウラル地方に於て、英人か米人と合同して、一大電氣精鍊事業を起して居ること、中部西伯利亞に於ては、戰前獨逸か注目して、將に四百萬留を以て買收せむとして居た鑛山を三百四十萬留て買取つたことを傳へて居る。

又露國の事情に精通せし人の談によるに、ペトログラードに於ける三人の公證人のみを以てして而も唯本年四月中に於てのみにて約八百萬留の鑛山に關する賣買契約に立會たのであるか、之等は悉く英佛兩國人の買取つたものである。而して其等の鑛山は、戰前曾て獨逸銀行團か三千萬留を以て、買收せむと企てゝ居たものであるさうである。

右は單に鑛業に關する事に過ぎないか、之によるも英國か戰時にも拘らず、經濟の發展に努め、露國の經濟界に對しても亦抜く可らざる勢力を扶殖して居るといふことを知り得るのである。

統計

一九一五年米國軌條毀損統計

今回米國鐵道工學協會より一九一五年十月三十一日まで
の軌條の毀損に關する統計を公にせり。該統計は同協會の
軌條委員會試験技師ウキツクホースト氏の編製に係り、諸
鐵道より材料を供給し、調査せる軌條の量七百三十九萬七
千六百九十九噸に達し、其の中百三十八萬四千八百五十八
噸はベセマー軌條六百一萬二千八百四十一噸は平爐軌條に
して、而して其製造の年は一九一〇年より一九一五年に互
れるか、尙ほ該統計には一九〇八年及一九〇九年の製造に
係るものをも附載せり。

報告する軌條總數中ベセマー軌條は漸次其の割合を減し
一九一五年の報告に係る軌條六十三萬四千八百九十八噸中
ベセマー鋼を以て製造せるものは僅かに一萬三千二百九十
五噸に過ぎず。左表は數年間に於けるベセマー軌條及平爐
軌條の毀損の關係を示せるものにして、最後の二欄は各年
に於ける線路百哩當りの毀損を平爐軌條を一〇〇とし兩者
の毀損の多少を比較せるものなり。此數字に依りて觀るに
ベセマー軌條百哩當りの毀損は之を平爐軌條の毀損に比し
約五〇%多きを知るへし。然れとも平爐軌條は酷使せらる

を常とするを以て此の比較は公平なるものと謂ふべからす。

平爐軌條及ベセマー軌條の毀損比較

製造年	使用年數	線路百哩當毀損		毀損比較	
		平爐	ベセマー	平爐	ベセマー
一九一〇	五	一五三、一	二三六、九	一〇〇	一五四
一九一一	四	一一五、五	一七八、八	一〇〇	一五五
一九一二	三	四六、〇	六六、九	一〇〇	一四三
一九一三	二	二四、八	一二五、二	一〇〇	一四二

今一九〇八年乃至一九一三年間の製造に係る平爐軌條とベセマー軌條とを比較すれば左の如し、其の中には漸く二年間使用せるに過ぎざるものと數年間使用せるものとあり。

ベセマー軌條及平爐軌條の毀損比較 (平爐を一〇〇とす)

製造年	使用年數	平爐	ベセマー
一九〇八	二	三	四
一九〇九	一	一	一
一九一〇	一	一	一
一九一一	一	一	一
一九一二	一	一	一
一九一三	一	一	一

又一九一〇年乃至一九一三年間に各製造所に於て製造せる軌條の毀損を比較すれば左の如し。但し各年に於ける總製造所の平均數を一〇〇とし、而してベセマー軌條製造所

五箇所及平爐軌條製造所九箇所を示せり。

各製造所の製造に係る軌條毀損比較

(但し各年の製造に對する各製造所の平均毀損を一〇〇とす)

製造所名	一九一〇年		一九一一年		一九一二年		一九一三年	
	比較等級	毀損等級	比較等級	毀損等級	比較等級	毀損等級	比較等級	毀損等級
イリノイ	八六、九	二	九四、四	三	八二、九	一	七九、〇	三
メリーランド	七三、三	一	一二五、九	一	九七、〇	二	一六五、三	五
ラツカワナ	九六、六	三	一五五、〇	五	一五七、七	三	七四、四	二
カムブリヤ	一七三、二	四	一六二、二	四	一八八、八	四	五七、一	一
カーネギー	二〇五、五	五	八八、八	二	二二、一	五	八四、七	四
テネシー	三五、八	一	三六、七	一	九五、四	五	六五、五	二
コロラド	三九、八	二	四七、三	二	一三〇、九	七	四四、四	一
ペンシルヴェニア	八〇、九	四	一〇七、〇	六	五九、八	二	八四、七	四
カーネギー	六六、〇	三	一一〇、七	七	二〇、二	六	七八、三	三
イリノイ	一四七、七	八	七九、八	四	八五、三	三	八八、三	五
ラツカワナ	九七、二	五	九七、七	五	八六、一	四	一二六、七	七
メリーランド	一〇六、三	六	五三、六	三	三九、三	一	二九八、八	九
ベスレヘム	二六、一	九	三六、四	九	一一三、三	八	一〇八、五	六
カムブリヤ	一一三、三	七	三〇四、八	八	一六、五	九	一九九、六	八

本諸統計の主要の目的の一は毎年製造せる軌條の成績の比較を明かにせんとするにあり、而して一九〇八、一九〇九、一九一〇の三年に對しては其の記録已に完成せるか故に右三箇年に製造せる軌條の滿五年間に於ける毀損の總數を比較し得るなり。是に由りて觀るにベセマー軌條及平爐軌條共に逐年毀損の數を減し行くを知るべし。今毎年の製造に係るベセマー軌條並に平爐軌條百哩當の平均毀損數を

示せは次の如し。

使用年數

製造年	一	二	三	四	五
一九〇八	〇	一	二	三	四
一九〇九	一	二	三	四	五
一九一〇	二	三	四	五	六
一九一一	三	四	五	六	七
一九一二	四	五	六	七	八
一九一三	五	六	七	八	九
一九一四	六	七	八	九	一〇
一九一五	七	八	九	一〇	一一

前表に由りて之を觀るに年々五年間使用の毀損數を減し行くのみならず使用年數五年未滿の場合に於ても亦其の數の減少し行くを知るへし。是れ蓋し一は漸次平爐軌條を以てベセマー軌條に代ふると一はベセマー、平爐共に其の成績を改善せられたるに因る。

●米國に於けるヴァナデウム鐵の輸出

米國に於けるヴァナデウム鐵の輸出は漸次増加して本年八月末に至る八ヶ月間の總計は一、〇六二、九三二封度に達せり。

期 間

總計(封度) 一ヶ月平均(封度)

一九一六年九月一日に至る八ヶ月間	一〇六二九三二	一三二八六六
一九一六年六月末に至る合計年度	一一一三〇七六	三二七五六
一九一五年 同 同	七五五九〇五	六二九九二
一九一四年 同 同	六二六四四一	五二二二〇
一九一五年中	八四〇二六五	七〇〇二二
一九一四年中	七七〇〇七九	六四一七三

統計

一九一三年中

六〇四二八七

五〇三五七

右に示すか如く一九一六年六月末に至る十二ヶ月間の輸出高は一、〇〇〇、〇〇〇封度を超過せるか、若し今後現在の率を保たは一九一六年中の總計は一、五九四、三九六封度に達すへし。

●米國に於ける一九一六年九月中の鐵鋼及

ひ機械類の輸出

九月中に於ける鐵及ひ鋼の積出は金額にして昨年九月中の一三八パーセントに當り本年八月のそれに比し五・三パーセントの増加を示せり。これを屯數より見れば昨一九一五年の九月に比し七〇パーセント、本年八月に比し七・五パーセントの増加を見たり。

機械類の積出は一九一五年九月に比し六八パーセントの増加を示せりと雖も本年八月よりは一七パーセントの減少をなせり。機械工具の積出は一九一五年九月に比し一四一パーセントの増加をなせるも本年五月の積出高に比し二〇パーセントの減少を示せり。

本年九月末に至る鐵及ひ鋼の總輸出高は一九一五年の最高記録を越ゆる事實に一四七パーセントに及へり。而して屯數に於いては一九一五年の同期間のものより七六パーセント多く、又機械類に於いては八三パーセントの増加を示せり。

本年九月に於ける鐵及ひ鋼製品の積出高は九〇、八九五、五九二弗にして昨年九月は三八、四一五、一八〇弗なりき。

鐵及び鋼の輸出高—本年九月中の總輸出高は六四三、七六三屯なりき。一九一六年九月末に至る九ヶ月間の總計は六四三、七六三屯なりき、次表は本年及び昨年九月及び一月より九月に至る九ヶ月間に於ける鋼の輸出を種別せるものなり。

鐵及び鋼の輸出

	九月		九ヶ月間	
	一九一五年	一九一六年	一九一五年	一九一六年
銑鐵	一九三三	六四、一三三	一九、九三九	三〇、二〇四
屑鐵	一〇、二九〇	三六、五九	四〇、八三三	五九、一九三
棒鐵	六、五六〇	六九、四八	二六、六〇三	五九、一九三
線材	一七、九〇九	一〇、七九三	二二、九八一	二八、七三七
棒	三七、六三七	六四、一六九	二九、八三五	五八、七五三
ビレットインゴット及びブルーム	五四、七八一	一六、三〇四	四〇、七九一	一〇、五二六
ポルト及びナット	二、五四	二、五五	一五、四〇一	二二、九二六
輪鐵及び帶鐵	三、五四	四、五五	一九、〇三三	三四、一四六
馬蹄	六七一	八七	一三、九七三	四、〇四三
切釘	六四九	八七	三、二四	三、六七二
軌條用スパイキ	六〇〇	一、五九	四、八三八	三〇、一四〇
線釘	九、五五八	一五、五九	六六、四四四	一一、四七〇
其他の釘	九八	一、六八	六、二四	七、七六四
鑄鐵管及び附屬品	六、三九	七、五八	三六、七六九	四九、九三二
鍊鐵管及び附屬品	八、六五	一七、七四	九、三三〇	一一、三三八
暖房及び鑄鐵汽罐	三七	三六	一、六〇	一、八五八
軌條	四、一六〇	八六、六六	二九、四四四	三九、一四九
亞鉛引鐵板	六、三三	七、六五	六四、〇一八	六三、七五
其他の鐵板	四、五四	二、八六	一六、一〇一	三四、三〇五
鋼板(厚)	二六、三三五	二四、三八五	一六、四九五	一九、四九四
同(薄)	一〇、六九	九、六七	七、三八七	七、七六七

建築用鐵及び鋼	二六、七四	二九、三六	一五、九〇五	二二、八六九
銑力板	三、三七	一八、七九	一五、〇六五	二九、三六
バルブ線金	三、八七	四三、四四	一七、三七四	四一、九六
其他の線金	二、六五	三、三三	一六、〇六一	二二、五六
合計	三、九七	六四、七三	三、四六二	四、三八八

機械類の輸出—一九一六年九月に於ける機械類の輸出高は二〇、五〇八、五五八、五五五弗にて一九一五年の二二、二七七、三八九弗に比し非常の増加を見る。金屬工機械の積出高は七、九〇一、三二八弗にして昨年九月は三、二五六、九七三弗なりき。一九一六年九月末に至る本年九ヶ月間の機械類積出高の累計は一六八、五七〇、二八七弗に上り。次表は一九一五年及一九一六年九月及び九月に至る九ヶ月間の機械類積出高の内譯を示す。

機械類の輸出

	九月中		九ヶ月間	
	一九一五年	一九一六年	一九一五年	一九一六年
計算機械	一〇、七〇三	八、三六七	四〇、七五八	一〇、四八六
空氣壓搾機	六、一八六	二九、一七六	三三、〇七五	六三、七五三
釀造機械	一、四六八	四〇四	五、四〇八	一一、四
表記機(貨幣用)	二、一七九	八、三五四	九、六六三	一、二五四
同上部分品	四、九〇八	五、一七六	七、五八三	一〇、八八六
綿繰機	八、四四	二、四三八	四、八五六	七、七〇四
クリーム分離機	二、六四二	二四、〇八七	二九、二九〇	三〇、四四九
昇降機	八、四八三	二四、五六〇	六、八三〇	一、七四四
電氣機關車	三、三九三	一八、八三二	一九、二七〇	三、五八七
瓦斯機關(定置)	三、〇五四	二五、七六五	三、七五三	二、四四九
ガソリン機關	五、八六八	九、九四八	四、〇六三	一、二六六

蒸汽機關	一、五二、六六九	七五九、七九七	四〇、四四二	八、二七、八三三
其他の機關	五四、七四六	四七、一六四	七、七、四一八	三、九、二、六四
同上部分品	四三、七九三	一、五八、六九三	三、三、三、六四九	七、八、五、九、七、七
洗濯機械	二九、七〇六	二九、一一八	二、四、五、六、五、一	二、四、一、五、三
其他	二七、七五五	五、一九、九八	一、八、六、八、八、四	一、九、八、四、五、九
芝刈取機	八、五三〇	一、二、四、六、三	二、五、五、七、四	一、八、二、一、二、一
金屬工機械 (工具を含む)	三、三、六、九、七、八	七、九、一、三、八	三、〇、八、四、四、二、九	六、三、二、八、三、〇、一
瓦斯計量器及量水器	七、一、五、九	一、八、七、六、六	一、八、七、二、六、八	二、八、九、八、三、九
製粉機械	三、五、四、九、三	一、〇、九、四、四	一、八、二、六、六、〇	一、八、〇、七、九、九
油井用機械	七、〇、六、九、四	一、〇、一、七、〇、〇	一、〇、四、二、六、四	一、五、四、三、三、〇
其他鑛山用機械	五、〇、一、三、七	六、〇、二、四、〇	二、九、七、五、八、二	四、九、四、九、九、七
製紙機械	九、一、七、一	八、一、〇、一、八	六、六、四、六、七	六、〇、七、〇、一、三
印刷機械	九、〇、一、三、六	一、七、〇、〇、一	一、〇、六、六、五、九	一、四、三、〇、〇、四、五
唧筒	三、九、一、三、六	三、四、九、一、二、九	二、二、九、八、四、四、七	四、〇、七、二、七、九
製氷及び冷却機械	二、五、一、〇、一	六、〇、六、七、六	六、三、〇、九、〇、四	五、四、四、六、一、五
裁縫機械	三、九、三、六、三、五	四、六、五、四、三、四	四、四、六、九、三、六、六	四、二、〇、九、七、〇、五
製靴機械	一、三、九、六、六、三	四、六、三、四、三、四	一、一、四、二、八、一、〇	七、六、一、七、一
製糖機械	六、〇、六、〇、八	一、七、三、九、九、四	二、七、九、一、三、三	四、一、〇、三、一、六、五
紡織機械	一、三、一、一、〇	二、三、〇、六、一、八	一、三、八、六、六、一、九	二、六、〇、九、九、八、五
活版機械	四、四、一、三、三	八、五、六、三、〇	三、八、五、五、八	八、七、八、一、八、一
タイプライター	五、〇、五、一、八、〇	九、〇、五、九、三	五、一、二、一、四、七、五	八、四、三、三、八、〇
風車	九、〇、五、二、七	四、六、七、七、九	六、五、四、五、三、五	八、〇、八、五、七、七
製材機械	二、〇、五、七、九	三、〇、六、三、七	二、六、五、八、四、一	三、三、一、五、三、三
其他	一、四、六、五、七、九	六、八、四、五、〇	六、九、〇、九、五、三	六、七、七、一、八、三
其他の機械及び部分品	三、二、九、四、六、六	三、三、七、九、一	一、六、五、三、九、六、七	二、八、九、八、一、七、二、八
合計	二、三、七、七、三、九	二、〇、五、〇、八、四、五、五	九、二、六、四、二、七、七	二、六、六、五、〇、三、七、七

鐵及び鋼の輸入——一九一六年九月中に於ける鐵及び鋼の輸入高は二八、五五七屯なり。一九一六年一月より九月に至る九ヶ月間の輸入累計は二〇三、〇二五屯にして一九一四年の同期間は三九二、五一八屯なりき。

統計

一九一六年及び一九一五年九月及び一月より九月に至る間の輸入高を内譯すれば次表に示すか如し。

鐵及び鋼の輸入高

	九月中		九月中	
	一九一五年	一九一六年	一九一五年	一九一六年
滿 僱 鐵	九、三、九、五	九、七、七、七	五、五、〇	五、八、四、七、四
硅 素 鐵	五、二、七、三	五、三、九、四	三、〇、八、八	三、〇、一
其他の銑鐵	九、三、三、九	六、三、四、〇	五、七、一、七	三、四、二、五、三
屑 鐵	八、一、三	九、五、三	二、九、九、八	四、七、七、七、二
棒 鐵	四、九	一、三	六、五、九、五	六、七、四、五
建築用鐵及鋼	二	一、六、三	一、一〇、一	一、〇、一
鋼片(合金を除く)	六、九	四、〇、五、五	八、六、一	八、三、八、八
其他の鋼片	六、七、三	八、六、二	六、〇、六、四、六	二、四、四、三、三
薄板及び厚板	六、六	九、四	九、三、三	一、三、一、一
軌 條 (鋼)	三、一	五、一	三、三、〇	八、六、二
鐵 力 板	六、四	二、九、五	三、八、〇	三、三、八、四
線 材	三、八、二、四	三、八、五、七	二、九、二、五、八	三、〇、三、五
合計	三、八、二、四	三、八、五、七	二、九、二、五、八	三、〇、三、五

(以上 Nov. 2, 1916 Iron Age)

●八月中獨逸に於ける鋼の産額 一九一六年八

月中獨逸に於ける鋼の産額は、一、四一二、三二六噸にして一日平均五二、三〇八噸なり。一ヶ月の産額としては戦争以來のレコードなれ共一日の産額としては第三位なり。而して第一位を六月中の一日平均五四、九九〇噸とす。今八月中の産額を分類すれば次の如し。

ベセマー鋼塊	六七〇、六一三噸
オープンハース鋼	六〇一、二七三噸

鋼鑄物

一二三、二七五噸

坩堝鋼

一〇、〇七二噸

電氣爐鋼

一七、〇九三噸

鋼鑄物及び坩堝鋼の生産額は八月を以て戦争以來の最とす。而して獨逸にて電氣鋼の産額が一ヶ月、一七〇〇〇噸に達したる事は未曾有なり。

●米國に於ける滿俺鑛の輸入 一九一六年八月

中米國に輸入したる滿俺鑛は七六、七二二屯なり(七月中は八一、九四二屯なりき)。一九一六年九月一日に至る八ヶ月間の總計滿俺輸入高は一九一五年の同期間の一四五、〇〇三屯、一九一四年同期間の一八三、〇二九屯に對し三九五、六八六屯なり。これによれば一ヶ月の平均は四九、四六〇屯となる、(一九一〇年より一九一四年の平均は一ヶ月二二、四七〇屯なりき)。今や米國にて輸入する滿俺鑛の高は英國の輸入高を超過するに至れり。

●米國に於ける硅酸鐵の輸入 米國に於ける高

級硅酸鐵の輸入の一九一六年に至り増加し來れるは次に示す表にて明かなるへし。表中の數字は一ヶ月の平均を示すものなり。

一九一六年九月一日迄(八ヶ月)	五五二屯
一九一五年九月一日迄(八ヶ月)	四五四屯
一九一五年中	四三五屯
一九一四年中	五二二屯

一九一六年に入り最も多く輸入せるは四月にて七五四屯最小は五月にて四一七屯なり。七月及び八月は夫々四八七屯、四七九屯なりき。

●十月中米國に於ける銑鐵の産額 一日の製産

額―骸炭及び無烟炭銑鐵の一ヶ月産額(一九一五年十月以降は次の如し。

製鋼用 市場に出すもの		總計
一九一五年十月	七三、五九五屯	二七、二二七屯
十一月	七三、二八二	二七、九六二
十二月	七三、六四七	二九、六八六
一九一六年一月	七二、六一四	三〇、一三二
二月	七五、三〇五	三一、一五一
三月	七六、二七四	三一、三九三
四月	七七、二二六	三〇、三六六
五月	七七、七〇六	三〇、七一六
六月	七六、五二六	三〇、五二七
七月	七四、三九七	二九、六二〇
八月	七四、六一七	二八、七二九
九月	七六、九九〇	二九、七五五
十月	八一、六三九	三一、五五〇

十月一日及び十一月一日に操業せる容量次表は十一月一日及び十月一日に操業せる熔鑛爐の容量を示す。

地方	熔鑛爐の全數	十一月一日の能力	十月一日の能力
New York: Buffalo, etc.	14	五八四三屯	一七
其他の地方	5	五三	三
New Jersey	6	二二〇	一
Pennsylvania:			二二〇

Lehigh Valley	110	11	110	11	110
Spiegel	11	11	111	11	111
Schuylkill Valley	11	11	111	11	111
Lower Susquehanna	11	11	111	11	111
Lebanon Valley	11	11	111	11	111
Ferro & Spiegel	11	11	111	11	111
Pitts. 地方	11	11	111	11	111
Ferro	11	11	111	11	111
Shenango Valley	11	11	111	11	111
Western Pa	11	11	111	11	111
Ferro & Spiegel	11	11	111	11	111
Maryland:	11	11	111	11	111
Wheeling 地方	11	11	111	11	111
Ohio: Mahoning Val.	11	11	111	11	111
Central & Northern	11	11	111	11	111
Hock. Val. & Hanging Rock	11	11	111	11	111
Illinois and Ind.	11	11	111	11	111
Ferro	11	11	111	11	111
Michigan, Wis. & Minn.	11	11	111	11	111
Colo. and Mo.	11	11	111	11	111
Ferro.	11	11	111	11	111
The South: Virginia	11	11	111	11	111
Kentucky	11	11	111	11	111
Alabama	11	11	111	11	111
Ferro	11	11	111	11	111
Tennessee	11	11	111	11	111
合 計	110	11	110	11	110

備考—十月一日より十一月一日の間に操業せる中には

Lehigh Valley に於ける Palmerton の一基、Lebanon Valley の Bethlehem Steel Company の Lebanon 爐一基、Kentucky

の Ashland, Ohio の Newburg 一基、South Chicago の一基、Alabama 及び Napier の Sloss 一基あり。
 十月に操業を中止せるものの中には Pittsburgh の Edgar Thomson 一基、Shenango Valley の Shenango 一基、Pennsylvania の Cambria Virginia の Max Meadows 一基、Mahoning Val. の Haselton Ohio の Dover Hanging Rock の Bessie Chicago 地方 Miami 及び Alabama に於けるメンシーパー一基を含む。

製産高の地方別—次表は一九一六年十月及び其前三ヶ月に於ける熔鑛爐(骸炭及び無烟炭を使用するもの)の製産高を示すものなり。

地 方	七月 (三十一日)	八月 (三十一日)	九月 (三十日)	十月 (三十一日)
New York	120,000	120,000	120,000	120,000
New Jersey	120,000	120,000	120,000	120,000
Lehigh Valley	120,000	120,000	120,000	120,000
Schuylkill Valley	120,000	120,000	120,000	120,000
Lower Susquehanna & Lebanon Valley	120,000	120,000	120,000	120,000
Pittsburgh 地方	120,000	120,000	120,000	120,000
Shenango Valley	120,000	120,000	120,000	120,000
Western Pennsylvania.	120,000	120,000	120,000	120,000
Maryland, Virginia & Kentucky	120,000	120,000	120,000	120,000
Wheeling 地方	120,000	120,000	120,000	120,000
Mahoning Valley	120,000	120,000	120,000	120,000
Central & Northern Ohio	120,000	120,000	120,000	120,000
Hocking Valley and Hanging Rock	120,000	120,000	120,000	120,000
Chicago 地方	120,000	120,000	120,000	120,000
Mich. Minn. Mo. Wis. and Col	120,000	120,000	120,000	120,000

Alabama	二二、九七三	二九、〇七六	二九、五〇八	三〇、八六三
Tennessee	三三、七九六	三〇、〇六六	三九、一五七	三三、七〇四
合計	五六、七六九	五九、一四二	六八、六六五	六四、五六七

製鋼會社の製産高 United States Steel Corporation の

總ての熔鑛爐及び其他の獨立せる會社より製出する製鋼用鐵、滿俺鐵及びスピーゲル、アイゼンの量は次表に示す通りなり。表中滿俺鐵及びスピーゲルアイゼンは別に示したれ共總製産高中にもこれを含めたり。

銑鐵總計

スピーゲルアイゼン及び滿俺鐵

	一九一四年	一九一五年	一九一六年	一九一四年	一九一五年	一九一六年
一月	一、六四一、四三〇	一、二五九、四四〇	一、二五二、〇三五	一、七三五	一、八〇四	二、四八六、六六六
二月	一、三九八、四四〇	一、三三九、三六〇	一、三八三、八四五	一、〇三四	一、三三九	二、三八七
三月	一、七〇四、六八八	一、五五一、〇八二	一、六五五、一六六	一、〇一三	一、三九四	二、九三八
四月	一、六五五、三三六	一、五八四、一一一	一、三二六、七六八	一、八六六	一、三三七	二、一八六
五月	一、四七五、八四七	一、六九四、四三〇	一、四〇八、八九〇	一、五〇四	一、三四四〇	三、五八四
六月	一、三九六、六三三	一、七〇七、六五七	一、二九五、七八四	一、六三四	一、九三〇〇	三、八五七
七月	一、三九五、八五一	一、九四九、七五〇	一、三〇六、三〇三	一、六三四	一、七八五四	三、三三三
八月	一、四五五、〇五四	一、一〇一、一八八	一、三三三、一三三	一、二五七	一、二七四六	三、三三八
九月	一、三九〇、三三三	一、二九三、三三三	一、三〇九、七一〇	一、三六六	一、三三、五九	二、九四一
十月	一、二七二、八二〇	一、二八二、四五六	一、三三〇、八六六	一、七四五	一、三三、九三	三、四五六
十一月	一、〇五九、一五五	一、二八八、四四九	—	一、三九七	—	—
十二月	一、〇四四、六〇一	一、二八三、〇四七	—	一、〇七三	一、三三〇〇	—

一九一二年一月より米國にて製出せる銑鐵——一九一二年一月一日より米國全土にて製出せる銑鐵（骸炭及無烟炭使用のもの）の量は次の如し。

	一九一三年	一九一四年	一九一五年	一九一六年
一月	二、〇五九、九一一	二、七九六、三三一	一、八五〇、〇四四	一、六四一、四二二
二月	二、一〇〇、八二五	二、五八六、三三七	一、八八八、八二〇	一、六四七、七一

三月	二、四〇五、三三八	二、七六三、五五三	二、四七五、八七六	二、〇六三、八三四	二、三三九、六九二
四月	二、七五五、四六六	二、七五三、七六一	二、三六九、六五五	二、一六四、九四四	二、三三七、七六八
五月	二、五二一、五八二	二、八三三、二二七	二、〇九三、六六六	二、三三三、四七〇	二、三六二、〇七三
六月	二、四四三、七五四	二、六二八、五五五	二、一七五、七三三	二、三六〇、八二七	二、三二一、五八八
七月	二、四二〇、八八九	二、五六〇、六四六	一、九七六、六四四	二、五三三、四二〇	二、三三四、五三三
八月	二、五二一、四三二	二、五五五、七六三	一、九七五、三六一	二、七六六、六四七	二、三〇三、七二二
九月	二、四六三、八三九	二、五〇五、九二七	一、八八三、五七七	二、八五二、五六一	二、三〇二、三六六
十月	二、六八九、九三三	二、四六三、二六一	一、七七八、八八六	二、三三三、四九一	二、五〇八、八四九
十一月	二、六三〇、八五四	二、三三三、一三三	一、五二八、三六六	二、〇三三、三〇六	—
十二月	二、七八二、七七七	一、九八三、六〇七	一、一五二、七五四	二、一〇一、三三三	—
十月迄の合計	二、三九六、八九九	二、六〇〇、七七一	二、〇〇二、五八四	二、三三三、三九六	—
十二月迄の合計	二、九八三、四九〇	三、〇七三、四〇一	二、三〇四、九七三	二、六六二、五五六	—

(以上 The Iron Age, Nov. 9, 1916)

●米國に於ける一九一六年十月中の鐵鋼及び機械類の輸出入 一九一六年十月中米國に於ける

鐵鋼及び機械類の輸出高は九月に比し價格に於て一割の減少を示せり、こは主として機械工具其他の機械類の減少に因るものなり。

十月中に於ける鐵及鋼製品の總額は一九一五年十月に比し八九パーセントの増加を見たれ共一九一六年九月に比し九・七パーセント減少せり。而してこれを屯數より見れば一九一五年十月に比し七四パーセントの増加一九一六年九月に比し五・二パーセントの減少なり。

十月中の機械類の積出高は一九一五年十月より二一・六パーセントを増したれ共一九一六年八月よりは二五パーセント減せり。機械工具の積出は一九一五年十月に優る事六

四パーセントなれ共一九一六年の記録たる五月のそれに比し四六パーセントの減少を見たり。

一九一六年十月末に至る十ヶ月間の鐵及び鋼の輸出總額は一九一五年の高記録を越ゆる事一二パーセントに及へり。

一九一六年十月に於ける鐵及び鋼製品の輸出金額は八二、〇一〇、九七二弗なり（一九一五年十月は四三、六〇二、七四一弗なり）。

機械類の輸出—十月中に於ける機械類の輸出高は一九一五年十月の一五、二三九、四一五弗に對し一八、四七九、〇〇七弗なり。其の内機械金屬工機械は五、八九二、八〇二弗にして、一九一六年十月末に至る總ての機械類の輸出高は一八、二三四、九一七弗なり、而して一九一五年の同期間は一〇七、四二〇、六九二弗なり。次表は一九一五年及び一九一六年十月並に十月に至る十ヶ月間の機械類輸出高の内譯を示す。

	十 月		十 月 間	
	一九一五年	一九一六年	一九一五年	一九一六年
計	四、九〇一	二、九八六	四、六三九	一、七〇三
空氣壓搾機	五、六〇〇	七、四〇〇	五、〇〇〇	五、〇〇〇
釀造機械	一、三三三	一、二六六	一、一〇〇	一、一〇〇
貨幣表記器	一、三六〇	一、〇〇〇	一、一〇〇	一、一〇〇
同上部分品	八、〇〇〇	三、九四六	八、〇〇〇	三、九四六
綿繰機	一、五〇〇	八、八四三	四、九六三	八、八四三
クリーム分離機	三、四〇一	三、二四三	三、五〇一	三、二四三
計	三、四〇一	三、二四三	三、五〇一	三、二四三

昇降機	一、三二八	一、〇八三	七五、四七九	一、四八二
電氣機關車	—	二、九七六	一、九三〇	五、七五八
瓦斯機關(定置)	六、三九七	四、八五四	四、〇四三	三、九〇一
ガソリン機關	九、八四七	六、七九三	五、〇九三	三、〇三九
蒸汽機	三、四七六	七、四〇〇	七、五三三	九、〇四二
其他の機關	一、〇四四	四、二六五	八、二八二	四、三六九
同上部分品	五、〇四三	一、七九四	三、七四四	九、六四〇
洗濯機械(動力)	九、七八五	一、三〇五	二、五五五	二、五五五
其他の洗濯機械	二、八五九	二、九三四	二、五五五	二、五五五
草刈機	三、七六九	三、七六九	三、七六九	三、七六九
金屬工機械及工具	三、三六〇	五、二九二	三、四一八	六、五一一
瓦斯及水量器	二、五三九	一、六四五	二、二四七	三、〇三九
製粉機	一、七〇三	九、六三〇	一、九四三	一、九四三
油井用機械	一、三九七	二、三五六	一、二七三	一、六五八
其他鑛山機械	三、五八三	八、二〇四	四、三〇七	五、八四二
製紙機	七、三三四	二、八六二	七、七六一	八、九三一
印刷機	一、二九三	一、八九三	一、二七三	一、六九四
製氷機	三、三三〇	四、八四二	二、六〇八	四、五五九
裁縫機	六、七九三	三、七八六	六、九八八	五、八二〇
製靴機	四、三三三	三、七八六	四、九〇二	四、五八七
製糖機	九、一〇六	一、〇三三	一、三三三	八、八五九
紡織機	九、八四三	一、五九三	三、三七五	五、七五五
植字機	一、八四七	二、四五四	一、五〇五	二、八五五
タイプライター	五、八八九	八、二九四	三、九一四	九、五八七
風車	六、六三六	七、八九六	五、七五五	九、〇三二
木工用機械(製材)	七、九八七	四、七三六	七、三三三	八、五八四
其他の木工用機械	二、三三二	六、七四九	九、〇三二	七、四四三
其他の機械及部分品	二、五八七	三、三八二	一、九〇六	三、三三六
合 計	一、五三九	一、八四七	一、〇七四	一、八六三

鐵及び鋼の輸出—十月中に於ける鐵及び鋼の輸出高は六

一〇、〇九六屯に上れり。而して一九一六年に入りての最高記録は九月中の六四三、七六三屯なり。一九一六年十月末に至る十ヶ月間の總輸出高は四、九六八、二八五屯にして一九一五年同期間は二、八一九、九九九屯なりき。次に示すは一九一六年十月及び十月に至る十ヶ月間の鐵及び鋼の輸出を一九一五年のそれと比較せる表なり。

	十 月		十ヶ月間	
	一九一五年	一九一六年	一九一五年	一九一六年
鐵	二、三三三	一〇、一七五	一七、八二四	四〇、二六〇
屑	一七、七二五	一九、九九四	五八、〇九八	一七、八三四
棒	三、三九二	四、五二二	二九、九八六	六、三七五
線	一、三六六	一、三九七	一三、一九五	一三、〇〇四
棒	四、四四五	六、四二二	三七、六二二	六五、八八六
ピレット、インゴット及びアルミウム	四、四四五	一、二六九	四五、三〇六	一、三〇、七六八
ポールト及びナット	二、七四七	二、九九九	一八、八八三	二四、八三五
輪及び帶鐵	三、三九二	三、三六九	三三、三三三	三七、四五五
馬蹄鐵	五、九七	三三	一四、五八八	七、二六五
切斷鐵	三七四	四一	三、五二二	四、二二
軌條用スパイキ	二、三七八	一、〇三三	七、三三〇	二、二七二
針金釘	八、一五六	一、三三〇	七、四七九	二、七九二
其他の釘類	一、〇四一	一、五五八	七、三三〇	九、三三三
鑄鐵管及附屬品	二、三八二	九、〇六四	三九、一五一	五八、九九五
鍊鐵管及附屬品	八、四五四	一、三六七	一〇〇、六八五	一四、八五五
暖房及汽室内用鐵	一九五	二四七	一、八四五	二、一〇五
加熱用鐵條	六、七六三	五、三七五	二九、三七七	四四、四〇一
亞鉛引鐵板	三、八三三	七、八九二	六、七八五	六、六六七
其他の鐵板	三、三四五	四、三二七	一九、三四六	三、八六三
鋼板	三、〇二七	二、六三九	一八、〇三四	三、三八九
鋼薄板	八、四三〇	一、〇二五	八、四三三	八、八一〇

一六六
建築用鐵及鋼 二、三三八 二、五三三 一八、九三三 二、七三二
鐵力 一六九三 一四、一七 一三、〇三一 一、九三〇
バルブワイヤ 一九九二 三七六五 一八、八〇六 三七、九五四
其他の針金 一六八七三 一八、五二二 一八、九三六 三、〇七八
合 計 三五、二三八 六、〇〇六 二八、八九九 四、六八五
鐵及び鋼の輸入——一九一六年十月中に於ける鐵及び鋼の輸入高は三〇、一六九屯にして一九一五年十月は三四、三七七屯なりき。次には一九一六年十月及び十月に至る十ヶ月の鐵及び鋼の輸入を一九一五年のそれに比したるものを示す。

	十 月		十ヶ月間	
	一九一五年	一九一六年	一九一五年	一九一六年
滿 鐵	一	八二四	一	六五八
鐵 素	三、七〇	六、一五	一四、一四四	五、六八
其他の鐵鐵	七、九七三	六、一〇〇	六五、〇九〇	四〇、三五二
屑	一〇、五七	二、七四八	四〇、四三三	五、九三〇
棒	六、四〇	三、三〇	七、三三三	六、九六
建築用鐵及鋼	四〇	三	一、四二二	一、一一
鋼片(合金を除く)	四	四三	一、三六	八、七二
其他の鋼片	八、九二	二、〇〇九	八、九六	一、三八二
軌條	一、三二九	四、九三	七、九四〇	二、四九三
厚板及び薄板	一、一六	七三	一、〇九	一、三八〇
鐵力	一五	一一〇	二、三三五	九、七
線	四〇六	一八三	四、二七八	三、四六七
合 計	一、三三七	三、〇二九	二〇、八五五	三、三九一

●印度產銑鐵の輸出 一九一五年三月三十一日に至る一ヶ年間の印度產銑鐵輸出高は一九一四年の同期間内の八二、五九二屯に對し五二、〇五五屯なりき。(一九一三年は

二、六一四屯。)同じく一九一五年三月末迄一年の銑鐵輸入高は一九一四年及び一九一三年の一二、二五四屯及び一一、五四五屯に對し五四五七屯なり。(The Iron Age, Nov. 16, 1916.)

●佛國に於ける鋼及び鐵鑛の輸出入 一九一六年一月より六月に至る佛國に於ける鐵及び鋼の輸出入高は次表の如し(商務局統計による)。

	輸入		輸出	
	一九一五年 一月より六月	一九一六年 一月より六月	一九一五年 一月より六月	一九一六年 一月より六月
銑鐵及び半製鋼	四、九二六	一、三六八	...	...
鐵及び(鑄及銀)	...	...	...	...
滿鐵鑛	六、四〇七	三、三二六	...	...
鐵鑛	一〇、一七九	二、七四六	...	...

鋼の半製品の中には英國よりの棒鋼及び米國よりの鋼片をも含めり。滿鐵鑛、二及び鐵鑛輸入の増加せるは興味に値ひす。(The Iron Age, Nov. 16, 1916)

●米國に於ける滿鐵鑛の輸入 米國に於ける滿鐵鑛の輸入は頓に増加して今や英國のそれを凌駕するに至れり。一九一六年九月中の輸入高は七三、五三六屯にして、

七月、八月及び九月は合計二三二、一九九屯なりき。一九一六年十月一日に至る九ヶ月の累計は四六九、二二二屯となれり。英國に於ける輸入高は一九一六年十月一日に至る累計三四八、三九四屯なり。

●一九一五年に於ける世界の銑鐵製產高 獨逸

に於いて編輯せられたる世界の銑鐵製產高は次に示すが如し(一九一三年、一九一四年及び一九一五年のものを)國別として示す。

國名	一九一三年	一九一四年	一九一五年
獨逸	三、六六六、〇〇一	三、三三三、四四四	二、九二六、二二三
米國	一、九三九、一七三	一、四八八、五五七	二、七九〇、一九九
英	一、〇八八、九二七	九、〇〇五、五七七	二、七九〇、一九九
佛	六、〇七五、三九〇	四、六三二、六八九	五、〇五〇、〇七一
露	五、三二一、三二六	五、〇二五、〇〇〇	四、七五〇、〇〇〇
白耳義	四、四八八、三九六	四、二六二、〇〇八	三、六六六、五六〇
埃及	二、四八四、六六〇	一、五八〇、〇〇〇	...
加奈陀	二、三六九、八六四	二、〇〇〇、〇〇〇	一、九六〇、〇〇〇
瑞典	一、〇〇八、〇〇六	六、九八三、五三三	八、一五八、二〇〇
伊太利	七、〇〇〇、〇〇〇	六、三五一、一〇〇	七、六七六、〇〇〇
西班牙	四、二六七、五五五	三、八五一、二二〇	三、九五〇、〇〇〇
西班	四、四七四、七四四	四、三五四、〇〇〇	四、二九〇、〇〇〇
其他の國	五、五〇〇、〇〇〇	四、九五〇、〇〇〇	四、八〇〇、〇〇〇
合計	七、六二一、九八一	六、三三三、三三四	六、三七八、四〇五

(The Iron Age, Nov. 23, 1916)

●米國に於ける銑鐵の產額 (一九一六年十一月)

一九一六年十一月中米國に於ける銑鐵の產額は三、三二一、八一屯即ち一日平均一一〇、三九四屯なりき。

十一月中毎日平均の銑鐵製產高を分類すれば次の如し。

製鋼用 市場向 合計

一九一六年十一月 八〇、四二屯 三〇、三三屯 一一〇、三九四屯

十二月一日及び十一月一日に於ける熔鑛爐の能力―次表は一九一六年十二月一日及び十一月一日に於ける全米の操

業熔鑛爐の能力を示す。(骸炭及無烟炭使用のものに限る)

地方	熔鑛爐 の全數	十二月一日		十一月一日	
		操業數	一日の能力	操業數	一日の能力
New York:					
Buffalo.	一九	一五	四、七三五	一七	五、八四三
New Jersey	五	三	五六六	三	五六二
New Jersey	六	一	二二二	一	二四〇
Pennsylvania:					
Lehigh Valley	二〇	一三	三、八八九	一三	三、六五〇
Spiegel	二	二	二〇〇	二	一九二
Schuylkill Valley	一二	九	二、三五六	一一	三、二二二
Lower Susquehanna	六	五	一、四四九	五	一、四二七
Lebanon Valley	八	七	一、〇二一	六	九二三
Ferro & Spiegel	二	二	一四八	二	一四一
Pittsburgh 地方	五三	四九	二二、八一〇	五一	二四、五一五
Ferro	三	三	七〇五	三	四二四
Shenango Val.	一九	一九	六、二八〇	一八	五、七九九
Western Pa	二四	一九	五、九八〇	一九	五、八二六
Ferro & Spiegel	三	二	一二四	二	一二七
Maryland	三	三	一、二五一	四	一、五五三
Ferro	一	一	八四	〇	〇
Wheeling 地方	一四	一四	四、六七五	一四	四、四九一
Ohio:					
Mahoning Val.	二五	二二	一〇、一三二	二五	一〇、九五四
Central & Northern	二五	一三	九、〇二〇	二二	八、一四四
Ho k. Val. &	一五	一〇	一、四七六	九	一、六一九
Hanging Rock	三五	三三	一六、一五六	三三	一五、一九一
Illinois and Ind.	二	一	一四九	〇	〇
Ferro	二	一	一四九	〇	〇
Michigan, Wis. & Minn.	二	一	三、一二九	一〇	二、八四九
Colo. and Mo.	六	三	九〇〇	四	一、〇九四
Ferro	一	一	九九	一	一〇五
The South:					

Virginia	一八	八	九六九	八	九五六
Kentucky	五	四	六六六	四	六二三
Alabama	三七	二八	七、七四三	二八	七、四五七
Ferro	一	一	六〇	一	七〇
Tennessee	一五	九	一、一四三	九	一、〇三五
合計	三九四	三二二	一〇八、二七	三二五	一〇九、〇二二

次表は十一月中の銑鐵(骸炭及び無烟炭使用)製産高を地方別にせるものなり。

地方	十一月製産高(屯) (三十日間)
New York	一八三、九〇六
New Jersey	六、三八四
Lehigh Valley	一二一、九四八
Schuylkill Valley	九〇、一一九
Lower Susquehanna & Lebanon Val.	七八、〇七九
Pittsburgh district	七二三、九九七
Shenango Valley	一八三、二七三
Western Pennsylvania	一八一、四〇九
Maryland, Virginia & Kentucky	八八、一〇〇
Wheeling district	一四〇、二四五
Mahoning Valley	三二八、一八一
Central & Northern Ohio.	二五八、六〇九
Hocking Val. & Hanging Rock.	五〇、九六六
Chicago district	四八九、一五八
Mich., Minn., Mo. Wis. & Col.	一二七、八七三

Alabama

一二三四、〇九五

Tennessee.

三四、四六九

合計

三、三二一、八一

十一月中製産銑鐵中製鋼に用ゐられたるものは二、四〇四、二一〇噸にして内四、四九七五噸はスビーゲルアイゼン及び満俺鐵なり。

尙一九一六年一月より十一月末に至る十一ヶ月の銑鐵製産高累計は三五、八六一、七〇五噸となれり。

(以上The Iron Age, Dec. 7, 1916)

●伊太利に於ける鐵及ひ鋼の輸入 一九一六年

自一月至五月及一九一四年、一九一五年の同期間に於ける伊太利の鐵及ひ鋼輸入高は次の如し。

	一九一四年	一九一五年	一九一六年
屑鐵及ひ屑鋼	一七七、三四〇	八九、六四二	一八九、七二五
銑鐵	一二二、〇〇六	九六、五九四	一三八、三四三
鋼鑄塊及ひ分塊	一〇、九九七	五六、五七五	五、九五三
棒鋼及鐵	六六、四六三	五八、五一六	三三、一六三
厚鐵及ひ薄鐵	一九、六〇四	一五、一五八	一三、四〇四
軌條	三、二一四	一、五四八	四、八五二
鋳力鋏及ひ被覆鋏	九、一六六	六、三七八	九、七二三

(The Iron Age, 14 Nov., 1916)

●獨逸に於ける銑鐵の産額 一九一六年十月中に

於ける銑鐵の産額は戦争以來の新記録にして一、一六一、〇〇五噸なりき。十月中に於ける一日平均の産額も亦戦争以來の新記録にして三七、四五二噸（九月中は三七、二二五噸

なりき）。十月中の産額を分類すれば次の如し。

鑄物用銑

一六〇、〇五五噸

ベッセマー銑

一六、一五〇噸

トーマス銑

七六二、一一五噸

製鋼用スビーゲルアイゼン

二〇五、八四〇噸

鍛鍊用鐵

一六、八四五噸

一九一六年十一月一日に至る十ヶ月の累計産額は一九一五年同期間の九、七四二、九一七噸に對し一一、〇五四、三三四噸なり。

●アルゼンチンに於ける鐵及ひ鋼の輸入

一九一六年一月以降のアルゼンチンに於ける鐵及鋼の輸入は戦争前より著しく減少せる事は次表によりて明かなるへし。

	一九一四年	一九一五年	一九一六年
銑鐵	七四、九三〇	九、二五四	一六、一〇四
鍊鐵	三六、九五二	一九、六五九	三、九〇七
亞鉛引鋏	二九、四八三	二五、四三九	八、三一四
鋼鑄塊	四、八七三	三、〇七九	一、〇三一
軌條	六九、〇〇八	三、九七〇	一、五一二
鋳力鋏	四、四二〇	六、五九三	七、五九五
亞鉛引針金(平)	一八、七三〇	六、五九七	一〇、〇四八
同(バルブ)	四、四八九	四、五四七	三、五二五
針金(亞鉛引ならざるもの)	一三、四〇七	六、四七九	九、一六七
ガーダー、ジョイスト等	一七、七九〇	二、〇七四	二、三六

(The Iron Age, Dec, 21 1916.)

●輸出輸入貨物品別表(大藏省發行の大正五年十一月外國貿易)
月表中鐵及鋼に關するもの左表の如し

第一輸出貨物品別表

内國產品	大正五年十一月		大正五年累計		大正四年十一月累計	
	數量	價額(圓)	數量	價額(圓)	數量	價額(圓)
鐵管(斤)	九五二、八七二	一三五、〇七三	六、二六三、七六五	八〇三、九四〇	一、五九一、三七八	一四七、一〇八
屑鐵及故鐵(斤)	七〇三、七三五	三四、八〇三	五、〇八七、四四三	二五三、三七三	九、六八八、三四七	二二五、三七三
鐵鍋及鐵釜	—	四一、三五七	—	三二〇、三九七	—	五〇、八二〇
鐵製品	—	八五五、二四六	—	七、九六八、二五四	—	二、六〇四、一九九
人力車(輛)	一、〇八〇	三六、九〇八	八、〇四四	二九四、三四七	七、一八四	二二二、三四〇
船舶(汽船)	一四	七、四二六、二〇〇	四六	一二、六三四、六七九	七	三九八、五四〇
同(其他)	—	二、三三七	—	三九、三三八	—	六二七、〇四九
機械同部分品及附屬品	—	八七四、二七四	—	二八、一六五、一九九	—	八八八、四四三
石炭(噸)	三九七	七、九四九	三、四八六	六九、一三〇	二、六三三	五二、七八二
	二〇一、一二一	一、三七四、一三三	二、七四七、七三六	一八、四九九、六〇三	二、六四九、七六八	一七六、四五一、一七

第二輸入貨物品別表

外國產品	大正五年十一月		大正五年累計		大正四年十一月累計	
	數量	價額(圓)	數量	價額(圓)	數量	價額(圓)
鐵(鑛擔)	五三八、五五八	一七五、六〇〇	四、五五三、一六二	一、六三三、九二九	四、七二一、七六〇	一、六六四、三八四

一七

外國產品	大正五年十一月		大正五年累計		大正四年十一月累計	
	數量	價額(圓)	數量	價額(圓)	數量	價額(圓)
電線支柱同部分品 ^並 架用材料 ^支	—	—	三九、二六八	四〇、九六	三、八九五	一、八八一
家屋橋梁船舶等建設材料	二三五、五二三	五一、一四七	三八五、七二六	九三、二七八	二九六、三三三	三一、八四八
鐵道車輛及部分品	—	四七、七〇三	—	二四三、七四五	—	五七一、八三三
自動車及部分品	三三	三四、六二七	一九七	三五、二三〇	三〇	七〇、六八七
自轉車及部分品	三三	四〇、八三	一二七	七九、五〇五	二、五七三	一四〇、六五九
汽船 (船齡十年以下)(隻)	—	—	一	六〇〇	二	一、八四〇、三三六
同 (其 他)(隻)	一	四、二三五、二五四	一三	一〇、五八五、五一九	六	五七三、六三八
汽罐同部分品及附屬品	—	九五、二三六	—	一〇、九三、三一一	—	五九、九七〇
フューエルエコノマイザー(斤)	五一、七二〇	—	二、〇六三、七八九	二九、〇三八	七〇三、三四三	六一、九一五
鐵道機關車同炭水車	—	—	—	二四、二七九	—	二七、一三六
蒸氣機關及スチームタービン	—	—	二〇、九二五	三五、六九八	三三、二九二	三三、七五三
瓦斯石油熱氣機關	二一、九五三	二二、七八三	三三七、五〇一	一七七、〇七〇	二四八、七七三	一五三、七三四
ウオータータービン及ベルトン水車	—	—	二四八、五三〇	二五、二〇五	二三一、〇〇八	二六、三〇六
發電機電動機類	一五、四五六	八八、六一	四九四、九九四	三三、一一八	九七四、四五五	四九八、三八九
縫衣機	一二〇、三一九	六、七八二	七八五、五二九	六六四、四三〇	三七二、三二四	二二九、三八五
金屬工及木工機械	三三八、九九三	二〇八、四一九	二、九八六、一四八	一、六二四、三三一	二、三三五、四三二	八四六、三六七
紡績機	八九〇、六一九	三〇、一三六〇	五、八六八、〇三三	一、八一、七九六	四、三一、三五九	一、二二、五七八
石炭コークス(石炭)(噸)	四四、七七五	三五三、八五三	四九六、三三〇	二、七五七、六一七	五四八、一六七	四、〇三七、三七九

●大正五年十月中本邦鐵及重要金屬並炭坑
產額表(農商務省鑛山局調)

鐵の產出狀況

鑛山名 所在地

大正五年十月

大正四年十月

釜石 岩手(銑)
仙臺 同(銑)
栗木 同(銑)二、七八八、七
一、八八二、一
三五七、七
二五三、〇二、二六〇、一
一、二五二、四
三五、一、七
一七二、八

重要金屬の產出狀況

大正五年十月

大正四年十月

金 一七五、七二六
銀 四、七六八、九三二
銅 一二、二一五、〇八六

佛電

佛電

石炭の產出狀況

鑛山名 所在地

大正五年十月

大正四年十月

夕張 石狩

一、〇〇、〇四七

七九、六一六

眞谷地 同

一四、七五七

一二、二九四

新夕張 同

二四、一〇〇

二九、四一五

空知 同

一五、〇六二

一七、三八七

幾春別 同

六、八四二

八、六八三

幌內 同

一五、七五二

一三、七八二

奔別 同

一〇、一二一

七、二九二

三井登川 同

一二、〇〇一

一四、一二〇

大夕張 同

六、八八四

八、二四七

三菱美唄 同

二五、七一四

一四、九八〇

入山 福島

二七、四八八

四三、六六四

小野田 同

一八、八五三

一七、五四二

內郷 同

三九、二八三

三九、一六一

王城 同

五、八〇五

四、一二三

好間 同

三一、六二七

二五、四一一

隅田川 同

七、五一五

五、〇五四

平川 同

四、六二一

四、三三七

統計

計

茨城無煙	茨城	一五、〇四九	一四、六〇二
重內	山口	四、〇八三	六、七二八
山口無煙	山口	五、五三〇	三、九二三
茨城	茨城	一一、五二七	九、四〇七
千代田舊姓(清田)	長崎	二、七三九	四、三一五
松浦	同	五、五六〇	四、八一九
高島	同	一六、七二六	一三、五五八
松島	同	二二、五七七	二二、一三五
崎戸	同	二五、〇二一	二二、八八九
香島	同	二、五九五	二、三六八
福島	同	七、四六八	八、〇〇八
沖ノ山	山口	二四、七九八	一八、三四九
大嶺海軍	同	四、四五九	四、六八五
東見初	同	一三、三〇八	五、六二〇
大正	福岡	四、〇二六	二五、四六九
大江	同	二四、八一八	八、七九五
高江	同	一八、九四九	一二、三三八
新海軍	福岡	五、八六〇	二四、四三七
新原	同	二四、八一〇	八、一一五
岩崎	同	七、四二四	九、〇八六
御入	同	八、八六三	二七、二二〇
新好	同	三〇、二四二	七、〇一一
三之浦	同	六、三八三	六一、六八二
大之浦	同	七〇、九九五	三三、〇三三
明治	同	四一、四四八	一七、七七一
三井本洞	同	二二、三三二	三二、九四一
鹽屋	同	四一、七七七	八、一四八
目屋	同	一一、一二七	二四、一二六
水瀨	同	二一、三九一	一五、九二七
金田	同	二二、八五三	八、二二九
大峯	同	一二、〇〇八	七五、五四九
赤池	同	八〇、一六四	
三井田川	同		

高田	高山	大松	中隈	方鶴	三城	下池	芳雄	三井山	豆田	鯉田	上田	忠隈	二瀬	豐國	峯地
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

鐵と鋼

第參年 第壹號

四九、一〇〇	三八、六三四
四一、三二九	三六、六五五
六七、七七九	五一、九〇五
二八、二四八	三四、〇八一
一四、二一〇	一五、二五二
三八、七九〇	三五、〇七七
一四、九二一	八、五九八
三三、四二九	二六、二五四
二三、七三三	二〇、五七一
一一、七三九	一一、八一〇
一四七、九三五	一三九、六七九
一七、六七二	一四、〇二一
一二、〇九八	六、二四二
六、八七四	五、六七二
五、一五二	四、四六二
五、一二六	四、八七八

久原	岩屋	杵島第二	芳谷	相知	杵島	福岡	姪濱	新尾	宇美	野田	平山	泉水	三笠	旭山	龜山
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

七、五五九	五、三三三
一〇、五四九	五、五二九
六、〇六〇	五、五八七
五、二二一	四、六五一
七、四七一	七、〇九五
五、一三〇	四、一四二
三、六五八	四、六七二
四、九六九	四、七九〇
一三、六二五	九、八六二
一〇、九四二	六、二四四
九、八八八	七、四九二
三七、二二一	二一、三三一
四一、一二二	三三、一四六
四〇、六九九	二三、〇九五
一三、五二五	一三、八九八
二、八二〇	三、八九〇

●米國に於ける銑鐵生産高

今試に一八五〇年より一九一五年に至る銑鐵生産の有様を表示するに左の如し。

其

一

其

二

年次	生産額	年次	生産額
一八九九	一八〇〇	一九〇〇	一八七〇
一九〇〇	一八〇一	一九〇一	一八七三
一九〇一	一八〇三	一九〇二	一八七五
一九〇二	一八〇四	一九〇三	一八八〇
一九〇三	一八〇五	一九〇四	一八八二
一九〇四	一八〇六	一九〇五	一八八五
一九〇五	一八〇七	一九〇六	一八八六
一九〇六	一八〇八	一九〇七	一八八七
一九〇七	一八〇九	一九〇八	一八八八
一九〇八	一八一〇	一九〇九	一八八九
一九〇九	一八一五	一九一〇	一八九〇
一九一〇	一八一六	一九一一	一八九一
一九一一	一八一七	一九一二	一八九二
一九一二	一八一八	一九一三	一八九三
一九一三	一八一九	一九一四	一八九四
一九一四	一八二〇	一九一五	一八九五
一九一五	一八二一		